

アナログ中心の業務体制による機会損失を分析し、受注・生産・在庫管理の一元化を検討。付加価値作業時間を創出し、伝統をデジタルで未来へ繋ぐためのDX計画を策定。

有限会社中村茶舗				https://nippon-tea.co.jp/	
本社所在地	松江市天神町6	資本金	720万円	事業概要	日本茶、コーヒー、茶道具等の製造・加工・販売
代表者名	中村 寿男	従業員数	21名		
設立年	1884年	業種	食品製造業		

背景

- 海外での抹茶需要が急増している一方で、生産体制の不足や原料調達の困難化により、機会損失が構造化する危機感がある。
- 受注や生産、在庫管理がアナログ中心で属人化しており、データのリアルタイムな可視化や共有が不十分である。
- 従業員の高齢化が進む中、作業手順のマニュアル化が遅れており、教育コストの増大が次世代の育成を阻害している。
- 日々の業務に追われ、本来注力すべき商品企画や新規市場開拓などの「未来のための時間」を確保できていない。

計画の骨子

付加価値作業の創出と効率化

- ▶ 受注から在庫・生産管理までをデジタルツールで一元管理し、手書きメモや二重入力をなくすこととした。
- ▶ 業務スピードの劇的な向上により「未来のための時間」を創出し、新規市場開拓などの攻めの経営へ転換する計画を策定した。

ナレッジ蓄積による組織強化

- ▶ 業務手順や社内ナレッジをデータベース化し、誰もがスマホで最新情報を入手・発信できる環境を整備することとした。
- ▶ 属人化を解消して育成コストを削減し、若手社員が即戦力として活躍できる自律的な組織への変革を図る方針を策定した。